

ニセコイワオヌプリ (1, 116m) 2024・1・28 (日)

スノーシュー班記録

日 程

6 : 30 伊達道の駅
8 : 10 チセヌプリスキー場駐車場
8 : 50 登り始め
10 : 20 1040mで下山
11 : 06 チセヌプリスキー場駐車場
12 : 15 現地解散

参加者

スノーシュー L/A 藤・S L/N 沼・K 藤 3名
日帰りスキー 6名
宿泊スキー 10名

山に雲がかかっていたもの青空が見え眺望に期待が膨らみます。チセヌプリスキー場駐車場で前日から参加の宿泊スキー組と合流し19名の在所帯になりました。

事件その1

出発直前N沼さんのスノーシューに不具合発生！手慣れた様子で応急処置を施しました。その際A藤さんのザックから出てきたのは強力粘着テープ・針金・ペンチ。さすが用意周到ドラえもののポケットみたい。でも街中なら職務質問かも。

遮るもののない真っ白な斜面を19名が列をなし、くねりながら登る長蛇の動きは最後尾から見ると、まるで天に昇る竜のようでした。

高度を上げるにつれ、しだいに天候が崩れ小雪から吹雪になりニトもアンヌプリも見えません。長いトラバースを抜けたときにはホワイトアウト。

1040mでリーダー、サブリーダーが集まり相談し下山となりました。



スノーシュー班は一足先に下山開始。途中で出会った犬2匹としばし戯れたり、行動食をパクリ。

このころには天気も回復し、樹木がないイワオヌプリの急斜面には人が張りついているように見えました。予定時刻に余裕があるのでショートカットがてら足の向くままに歩くのも楽しかったです。

スキー組到着を待って雪原に座り昼食タイム。

さて解散と思いきや。事件勃発。



事件その2

S井さんが滑走中に転倒しスマホを紛失したかもしれない！

すぐさまスマホ捜索隊を結成しシールを張りいざ行かんとした時、S井さんの懐にスマホはぬくぬくとありましたとき。めでたしめでたし。

安堵のうちに現地解散となりました。皆さまお疲れ様でした。

スノーシューひとり参加で恐縮です。

ベテラン指導員二人付きの山行ありがとうございました。

K 藤